

平成28年度事業経過報告承認の件

当会の基本方針「健全な納税者団体」「よき経営者を目指すものの団体」「地域社会に貢献する団体」の基本方針に則り、平成25年4月に東京都より一般社団法人の許可を得て、以来活発な各種事業活動を展開しております。

1. 税知識の普及を目的とした事業

新設法人を対象とした新設法人説明会を隔月、決算期到来法人を対象とした決算法人説明会を毎月、江戸川南税務署、江戸川南税理士会から講師を招き会員、非会員を問わず案内し開催した。法人税、相続税の研修会は青年部会、女性部会、源泉部会も適宜に開催、会員非会員を問わず多数の参加を得た。

2. 納税道義の高揚を目的とする事業

租税教育として毎年継続実施している葛西地区伝統の“海苔すき”を小学生に実体験してもらいながら同時に税理士による租税教室を実施した。青年部会では葛西地区小学校プールにて着衣泳法を体験、併せて税務署講師による租税教室を実施、好評を博している。

11月の税を考える週間では、葛西区民館にて第1部に江戸川南税務署署長の講話、第2部に杉田かおる氏を招き「国民総幸福量から学ぶ幸せのあり方」で講演願い、会員はもとより地域住民541名の参加を得た。氏は幼少よりタレントとして活躍しているので、税については専門家に依頼しているが、よく指導を受けているので税に対する重要性は十分に認識していると自分なりの考え方を話された。

3. 税制及び税務に関する調査研究ならびに提言に関する事項

平成28年度税制改正では、法人実効税率20%台が実現され、大きな前進が図られた。

平成29年度の改正に関する提言では、中小企業が事業承継をできなくなると日本経済の根幹が揺らぐ、事業に関する相続は事業従事を条件として、他の一般財産と切り離し、事業用資産への課税を軽減控除するなどの事業承継税制の創設。また子ども達への租税教育など公益的な活動をさらに積極的に展開する。

4. 地域社会の健全な発展に資する事業

簿記の仕組みを3級程度から学ぶ講座を開催。5月には双日総合研究所チーフエコノミスト吉崎達彦氏、1月には元横浜市長の中田宏氏を招き、「どうなる今後の日本経済」、「公共ニーズとビジネスチャンス」をテーマに講演願った。

[第1号議案]

5. 地域社会への貢献を目的とする事業

西葛西地区公園、並びに船堀駅前の清掃活動、年末には愛の献血運動等、社会貢献活動も積極的に展開した。

また、4月に発生した熊本地震では、青年部会が中心となり駅頭にて募金活動を実施、熊本市と大分県にそれぞれ義援金を贈った。

6. 会員の交流に資する事業

会員相互の交流を目的とした会員親睦ゴルフ大会、会員親睦旅行、新年賀詞交歓会など盛況裡に実施された。各支部においても、医療関係、相続と事業継承、防災危機管理等の研修会、交流会を開催、各部会においてもゴルフ、ボーリング大会、一泊研修会、見学会などを開催それぞれ交流に努めている。

7. 会員の福利厚生に資する事業

法人会の「経営者大型保障制度」をはじめ各種共済制度の一層の推進普及を図った。

また、会員企業の福利厚生を図るため経営者、従業員を対象とした半日人間ドックを春秋の2回にわたって開催した。

8. その他法人の目的を達成するための事業

本年も9月から12月の3ヶ月間にわたって、支部毎に目標を決め会員増強運動を積極的に展開した。その結果、104社の新規会員を迎えることができた。しかしながら、業績不振などによる退会も110社と多く結果昨年の会員数維持に留まった。

事業報告件数

平成28年度事業報告

1. 研修関係事業	《税務研修会》	18回	136名
	《講演会》	3回	827名
	《支部研修会》	5回	267名
2. 社会貢献関係行事		17回	609名
3. 福利厚生事業行事	《親睦》	2回	209名
	《検診》	2回	483名
4. 青年部会関係行事		11回	680名
5. 女性部会関係行事		7回	468名
6. 源泉部会関係行事		4回	358名
7. 諸会議関係行事	《通常総会》	1回	117名
	《役員会・委員会》	26回	424名
	《支部会》	55回	357名
	《青年部会役員会》	12回	198名
	《女性部会役員会》	4回	33名
	《源泉部会役員会》	1回	3名

計 168回 のべ 5,169名 参加

※ 平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。